

都内の大学生が工場視察

**太田**

東洋学園大(東京都)でマーケティングを専攻する学生14

人が23日、ドローンを開発・製造する石川エナジーリサーチ(太田市大原町、石川満社長)の工場を視察した。飛行する機体を間近に見学し、教育現場でドローンを活用するアイデアを探った。学生たちは調査を進め、具体的なプランをとめて11月に最終報告

ドローン活用法
開発会社に提案

を行う。

同社を訪れた学生はデータを提示し、「ドローンの市場規模は2023年の4千億円から28年に2・3倍で拡大する」と説明。グラウンド上空から撮影し、サッカーの戦術理解を深める案や、選手の保護者に動画や写真を販売するビジネスモデルを発表した。

桜井陽太さん(20)は「監督と選手の意思疎通が容易になる。動画や写真撮影で選手の思い出も残せる」とPRした。石川社長は「新たな視点で面白い。課題も多いが、最終報告でに練ってほしい」と期待した。

現地視察は産学連携プロジェクトの一環。学生を指導する本庄加代子教授は「社会との接点を持つてもらい、主体的に生きていけるよう活動している。企業からの意見を参考にしたい」と話した。(新井正人)